

ため池浸水想定区域図の見方

■ため池浸水想定区域図の作成の目的

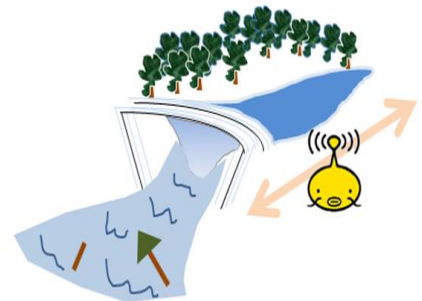
ため池浸水想定区域図は、大規模地震や集中豪雨等により、万が一の事態でため池が決壊等した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために浸水予測を行いました。

住民のみなさんが、ため池に関して想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的にしています。

■浸水想定区域図の作成条件

大規模地震や集中豪雨等により、万が一が起こりうる最大の事態を想定しました。

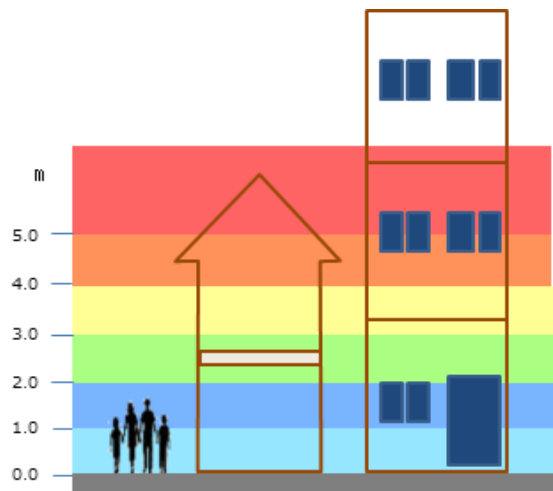
ため池が満水の状態で、貯水量の全量が下流域に流れ出す場合を想定しました。



■浸水想定区域図の情報

場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。

ため池の貯水量の全量が到達するまでの時間を表示しました。



■そうってからでは遅い！早めの避難

万が一の事態が発生し、浸水が始まってから避難行動したのでは、手遅れになる場合も想定されます。

あらかじめ、ため池浸水想定区域図の情報を把握して、万が一の事態が発生した場合の早めの判断と速やかな行動につなげてください。

